

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 5月20日（日）

木々の芽吹きが美しく、風もさわやかに感じ、心も体も行動的になれる季節です。自然体験や社会体験などを通し、家庭のふれあいを深め、心身の発達を促しましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

補導委員会活動について

千曲市少年補導委員会会長 齋藤 善久

真新しい制服とかばんの中学生、黄色のカバーの掛かったランドセルの小学生、夢と希望に満ちた笑顔で元気に通うこの子ども達の未来のために、一生懸命活動をしている補導委員会。

千曲市教育委員会の少年育成センターの下部組織として、私達三十名が「補導委員会」を名乗り、補導活動をしています。一人当たり月二回のパトロールで、青少年が非行を起こす前に声掛けをしたり、話を聞いたり又アドバイスをしたりする「愛のひと声かけ」を中心に行うことを目的とする活動団体です。

次世代を担う青少年が、安全で安心して生活できる日常の場で、夢多き未来を信じ、心身ともに健康で、自立心や社会性を備えた社会人に成長することを願い、彼らを支援し、励ます活動に積極的に取り組んできました。そうした努力にもかかわらず、青少年のモラルの欠如や規範意識の低下から生じるトラブル、インターネットや携帯電話に端を発する事件や淫行事件など、青少年をめぐる問題状況は依然として憂慮すべき状況にあります。

そんな時、長野県青少年補導委員会連絡協議会会長を仰せつかり、中心となり「子どもを性被害等から守る条例」の制定に向け学習をし、知事に要望書を提出したり、他団体にも呼び掛けをしたりしてきました。青少年を取り巻く社会環境は急激に変化しています。その大きなうねりの中で、青少年を健全に育成する基盤が弱まっていることをあらためて危惧します。

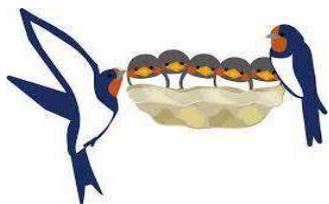
そうした中で、私たち千曲市少年補導委員会は、市少年育成センターと一緒に、青少年の非行の根絶を目指し、街頭補導の強化、環境浄化活動の推進等に積極的に取り組み、青少年の安全確保、健全育成、より良い社会環境の構築に向けた広報・啓発活動を事業指針にかかげ、温かな思いやりの心を持ち「愛のひと声かけ」活動を中心に、一生懸命頑張っています。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！
— 悩み事抱えず気持ちを伝えよう —

新補導委員の皆様が委嘱されました

4月10日に、平成30年度千曲市少年補導委員会総会が開催され、次の皆様方が千曲市教育委員会から新補導委員に委嘱されました。任期は2年で、少年育成センターの業務推進のために活躍していただきます。補導委員が行う補導活動は、非行少年の発見や犯人探しではなく、普通の少年の中で、大人の立場から心配される行為に対し、注意・助言を中心に正しい道に導く活動です。「愛の声がけ」を大事にしながらか非行化を未然に防止し、青少年の健全育成を推進することを目的としています。

小学校区	選出区	補導委員名	小学校区	選出区	補導委員名
屋代小学校	屋代第1	山本 啓一	八幡小学校	郡	関 紗和子
	屋代第3	中山 和男		辻	古平 定雄
	屋代第5	西部袈裟一		志 川	宮寄 新司
	屋代第6	篠原 哲雄		磯 部	滝沢 輝久
東 小学校	雨 宮	岡田 靖雄	戸倉小学校	福 井	和田 茂
	森 西	古川 正		新戸倉温泉	水出 寛美
	倉 科	島田 幸雄		芝 原	大谷 茂
埴生小学校	寂 蒔	齋藤 善久	更級小学校	仙 石	関 富和
	打 沢	渡邊 周一		須 坂	北澤とみ子
	小 島	北川 和夫		五加小学校	上 徳 間
	桜 堂	児玉 健二	内 川		中村 公夫
	杭 瀬 下	篠原 幸恵	千 本 柳	池内 洋司	
治田小学校	荒 町	青木 秀男	上山田小学校	漆 原	寺澤 憲一
	上八日町	大備由利子		上山田温泉	高松 伸富
	中 原	和田 隆也		新 山	市川 智深



補導日誌から



更級小学校PTAとの合同補導～素直な返事が何よりです

3月16日（金）3:00pm～5:00

時季的に、神社や公園は閑散としていて、児童の姿はありませんでした。そんな中で、唯一公園の近くの道路上で3人の児童がボール遊びをしていたので、「道路は危険なので公園でやった方がいいよ。」とうながすと、素直に「はい」と返事してくれました。

埴生小学校PTAとの合同補導～注意したい新しい道路

3月16日（金）3:00pm～5:00

春休み初日、風が冷たく曇天の寒い日でした。まず、A店のゲームセンターに行くと、保育園児と祖母、小学校卒業男子が1人、小学生低学年女子2人がゲームなどをしていました。お店の人に聞くと、「以前より子ども同士で来る事が減っている」とのことでした。学校としての心配な場所としてあがっていた鋳物師屋の新しくできる道路を通り、柳町公園から内川公園に回りました。現場を通ってみると、新しくできる道路の子ども達の横断には相当の注意が必要と感じました。内川公園では、すべり台の遊具の中で小学生5人がかたまってゲームをしていました、「家にいるより楽しい」と言いながら。

八幡小学校PTAとの合同補導～下校時の子供に配慮を

3月19日（月）3:00pm～5:00

地区のコンビニ2店を訪問しました。子どもだけで買い物に来ることはなく、特に問題はないそうです。学校からの心配場所、危険個所の道路を青パトにて巡回しました。武水別神社西側道路は直線道路で、スピードを出している車が多く見られました。保育園の北側は人家が密集しており、細い横道が多

くあります。保育園では園児を迎えに来る多くの保護者の車が、小学生の下校の時間と重なります。子ども達に気をつけていただくようお願いしたいです。

埴生中学校PTAとの合同補導～素直な子

3月22日(木) 3:00pm～5:00

柳原公園到着時、前方より自転車に乗った男子中学生2人と遭遇。すかさず青パトから先生が降りて「アウト！ノーヘルメットはだめ！」「今すぐヘルメット着用」の指示。ヘルメットをかぶった2人と元気に挨拶をして別れました。書店やカラオケ店を巡回していると、先ほどの2人と再会しました。今度は、しっかりあご紐まで付けて自転車に乗っていました。2人を車窓から見た先生は、「本当、この子ども達は素直で皆良い子なんですよ…。」と。少々問題はあったが、気持ちの良い一日でした。

上山田小学校PTAとの合同補導～表面に出ないものが心配

3月23日(金) 3:00pm～5:00

戸倉上山田交番では、交番所長に管内の情勢や要注意箇所を話してもらいました。少年がたむろするような場所やそのような状況は見られないようです。それよりも、たまにある声かけ事案、わいせつ事案の警戒をしているとのことでした。今はネット利用による出会いやメール写真のやりとりで深みにはまったり被害に遭ったりするなど、表面に出ないものが心配であるとのことでした。

厩代小学校PTAとの合同補導～皆さんのおかげです

3月27日(火) 3:00pm～5:00

B書店を巡回。小学生が1人でDVD売場にいたので、声かけをしました。2か所のコンビニに立寄るも、問題点なし。店員さんも少年の行動等に注意を払ってくださり、良好な環境でした。千曲衛生センターは、子どもの飛び出し等があり以前は危険個所でしたが、管理者等皆さんの努力の結果、立看板・ロープ等を張るなどのほか立入禁止ケ所も設置してあり、問題ありませんでした。

治田小学校PTAとの合同補導～ゴミもなくきれいな公園こそ

3月28日(水) 3:00pm～5:00

2カ所の公園に子どもが各2名いました。先生に声をかけられると恥ずかしそうにしていました。他の公園には子どもは1人もいませんでした。各公園は問題なく使用されていました。『公園内はゴミもなく、トイレもきれいに使用されていますね。』と2名のPTAの方が感想を述べていました。

編集室の窓

慈悲のまなざし

子育ての時の「転んでも手を出さない」「自分で立ち上がるまで待つ」「自分でできたら誉める」はよく知られています。ただ、誰もが同じようにできるか、見守っていただけるかは極めて難しい現実があります。転んで泣いている子にすぐに駆け寄らない大人、すぐに助けない大人を、心の内など知ろうともせず「冷たい人」と非難する…世の中は幼児が転べばすぐに駆け寄り、優しい大人が好かれるようです。どうしても心の内は分ってもらえない、難しい世界ではあります。

ある公園の桜を見に行った時のことです。幼児と母親が2人でやって来ました。笑顔の2人でした。幼児は実に活動的です。ここでも母親が手を離れた途端に走り出してしまい、運悪く前のめりに転んでしまいました。母親からは「走ると危ないよ」というような声かけはありません。転んでからも、「・・・って言ったでしょ」とか「だから・・・」という類の小言は一切ありません。笑顔を崩さず、あわてることなく近づいていきます。幼児は服についたほこりを払い、母親のもとへと走り寄ります。…笑顔で迎えた母親…何事もなかったかのように、手をつないで行ってしまいました。

見かけは優しさがいいように見えても、心の内の道理は優しさが溢れている…そんな母親に出会いました。そのまなざしは、「冷たい人」という感情をも包み込んでしまう慈悲のまなざしでした。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

わたしのゆめ 3年1組 宮川 凛

わたしのゆめは、音楽の先生になることです。

なぜかという、ピアノを習っているからです。中学校では、すいそうがくぶに入って、音楽の先生せんもんの大学に行って、たくさん勉強します。そして、ゆめをかなえたいです。がんばってみます。

わたしのゆめ 3年1組 若林 新菜

わたしがしょうらいになりたいことは、学校の先生です。いっぱい勉強して、いろいろなことにちょうせんして、学校の先生になりたいです。

何でこのゆめをもったかという、勉強がすきで、1年生の時からずっと思っていました。これから、いっぱい勉強して、いろいろなことにちょうせんしていきたいです。

わたしのゆめ 3年1組 竹澤 千紗

わたしのゆめはデザイナーになることです。なぜデザイナーになりたいかという、家で、ワンピースやスカートの絵をかいているときに、お母さんが、「デザイナーになれば。」

と言ったからです。

しょうらいデザイナーになったら、いろんな服やワンピースを考えたり作ったりしてがんばりたいです。

わたしのゆめ 3年1組 南沢 瑠菜

わたしのゆめは、びょうしさんです。

お母さんがやっているのを見て、楽しそう、やってみたいと思いました。学校から帰ってくると、ランドセルをおいて、お母さんのお店にすぐに行きます。毎日見ておぼえて、大人になったらお母さんといっしょにお店をやりたいです。

わたしのゆめ 3年1組 中村 詩

わたしのゆめは、かんごしさんです。

6さいぐらいのときに、おもしろそうだなと思いました。それとみんなを助けたいとも思いました。

いろんな人を助けてがんばっていきたい。人にやさしくしていきたいと思っています。

ぼくのゆめ 3年1組 竹森 遼太

ぼくは、りくじょうクラブに通っています。走るのが本当に楽しいです。だから、ぼくはりくじょうのオリンピックせんしゅになって、金メダルをとりたいです。そのためにクラブを休まずに行き、コーチのアドバイスをよく聞いてがんばりたいです。